

第1章 調査概要

報告書のみかた

- (1) 比率はすべて、各設問の不明・無回答を含む集計対象者数（付問では当該設問回答対象者数）に対する百分率（%）を表している。1人の対象者に2つ以上の回答を求める設問（複数回答設問）では、百分率（%）の合計は、100.0%を超える場合がある。
- (2) 百分率（%）は小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示した。1つだけ回答を求める設問（単数回答設問）では、四捨五入の関係上各選択肢の百分率（%）の合計が100.0%にならない場合がある。また、2つの選択肢を集約した割合（「とても良いと思う」と「良いと思う」を合計した『良い』など）は、該当選択肢の回答数の合計から割合を算出しているため、グラフに示した選択肢ごとに算出した割合の合計と一致しない場合がある。
- (3) 図中の「N」は集計対象者数（あるいは、分類別の該当対象者数）を示し、各選択肢の回答比率は「N」を集計母数として算出した。
- (4) 回答者数は、各地域の抽出率の差を調整するため、回収数にウェイトを加重し規正した。これは標本数の配分にあたり、湖西地域は他の6地域（大津、湖南、甲賀、東近江、湖東、湖北）の2倍のウェイトを加重して抽出したためである。

1. 調査目的

県政全体に関する満足度と県政の当面する主要課題等をテーマに選び、県民の意識・意向を調査し、今後の県政をすすめるうえでの基礎資料とする。

2. 調査期間

平成24年6月5日～平成24年6月29日

3. 調査設計

調査地域	滋賀県内全域
調査対象	県内在住の満20歳以上の男女個人(外国人を含む)
標本数	3,000人
抽出台帳	選挙人名簿および外国人登録原票
抽出方法	層化二段無作為抽出法
調査票	日本語および翻訳調査票

4. 調査方法

郵送法、無記名方式

5. 調査機関

株式会社地域社会研究所

6. 調査項目

- (1) 県政全体に関する満足度について
- (2) 県の広報・広聴活動について
- (3) 原子力防災について
- (4) 関西広域連合の取組について
- (5) 「美の滋賀」づくりについて
- (6) 社会的弱者(子ども・女性・高齢者等)への安全対策について
- (7) 環境について
- (8) 健診(検診)について
- (9) 子育てへの意識について
- (10) 琵琶湖での湖上交通(船を使った移動・交通)について

7. 標本構成

(1) 層化

県内の市町を7地域に分類した。

大津	大津市
湖南	草津市、守山市、栗東市、野洲市
甲賀	湖南市、甲賀市
東近江	近江八幡市、東近江市、日野町、竜王町
湖東	彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町
湖北	長浜市、米原市
湖西	高島市

(2) 標本数の配分

各地域規模の層における20歳以上の人口を基に、ウェイト補正（「(4) 調査結果の集計表示方法」を参照）を行って3,000人の標本数を比例配分した。

	推定母集団		標本数		地点数
		うち外国人		うち外国人	
大津	270,790人	2,860人	695人	7人	46地点
湖南	247,380人	2,828人	636人	8人	44地点
甲賀	118,852人	3,011人	305人	8人	21地点
東近江	187,590人	3,016人	481人	8人	34地点
湖東	123,492人	1,778人	316人	4人	23地点
湖北	132,607人	2,536人	341人	6人	23地点
湖西	44,045人	375人	226人	2人	15地点
合計	1,124,756人	16,404人	3,000人	43人	206地点

注1) 抽出地点は、平成22年度国勢調査時に設定された調査区を使用した。

注2) 推定母集団は、以下のように算出した。

日本国籍のものは、平成23年3月31日現在の住民基本台帳登録者数をベースに算出した。

外国籍のものは、平成23年12月31日現在の外国人登録者数をベースに、「平成23年版在留外国人統計」（法務省、平成22年12月末現在）の成人比率で補正し、算出した。

(3) 調査票の回収結果

有効回答数は1,622件で、有効回収率は全体で54.1%となった。

地域	標本数	有効回収数	有効回収率
大津	695人	395件	56.8%
湖南	636人	340件	53.5%
甲賀	305人	158件	51.8%
東近江	481人	263件	54.7%
湖東	316人	169件	53.5%
湖北	341人	172件	50.4%
湖西	226人	125件	55.3%
不明・無回答		---	---
合計	3,000人	1,622件	54.1%

(4) 調査結果の集計表示方法

各地域とも統計的な信頼度が確保できるように、以下の通りの標本数と抽出ウェイトとしている。

地域別の抽出数が異なるため、有効回収数に集計ウェイトを加重し補正した。調査結果は、この「規正標本数」を基数として集計を行った。

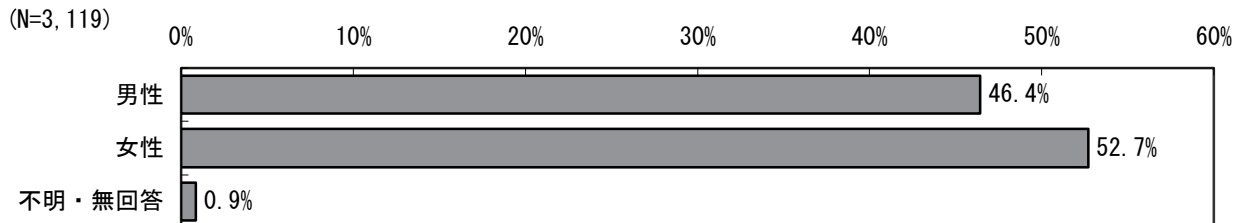
地域	抽出ウェイト	標本数	有効回収数	集計ウェイト	規正標本数 (集計母数)
大津	1 / 2	695人	395件	2	790件
湖南	1 / 2	636人	340件	2	680件
甲賀	1 / 2	305人	158件	2	316件
東近江	1 / 2	481人	263件	2	526件
湖東	1 / 2	316人	169件	2	338件
湖北	1 / 2	341人	172件	2	344件
湖西	1	226人	125件	1	125件
不明・無回答			---		---
合計	---	3,000人	1,622件	---	3,119件

8. 回答者の属性

ここでは回答者の属性について、性別、年代別、居住地域別、職業別、勤務地（通学地）別、居住歴別にみた結果を示す。

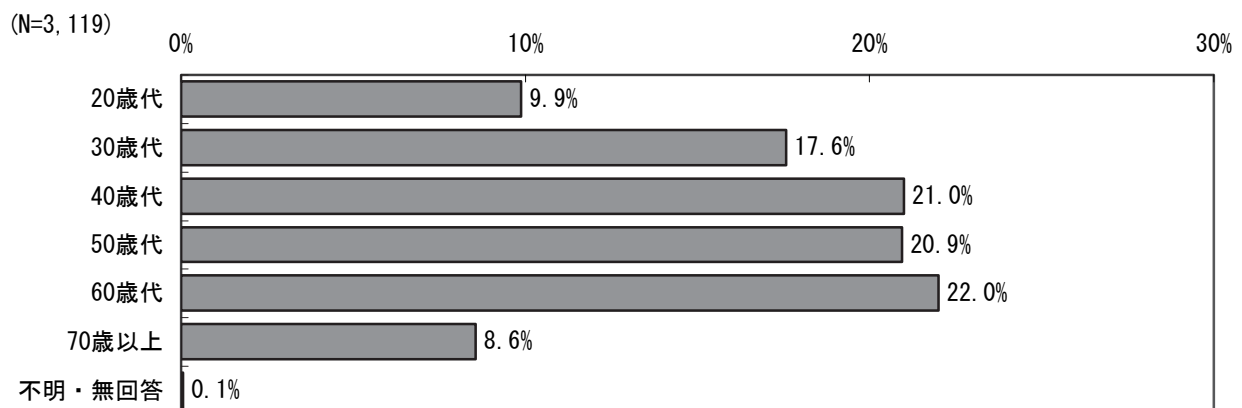
（1）性別

性別は、「女性」が52.7%、「男性」が46.4%となっている。



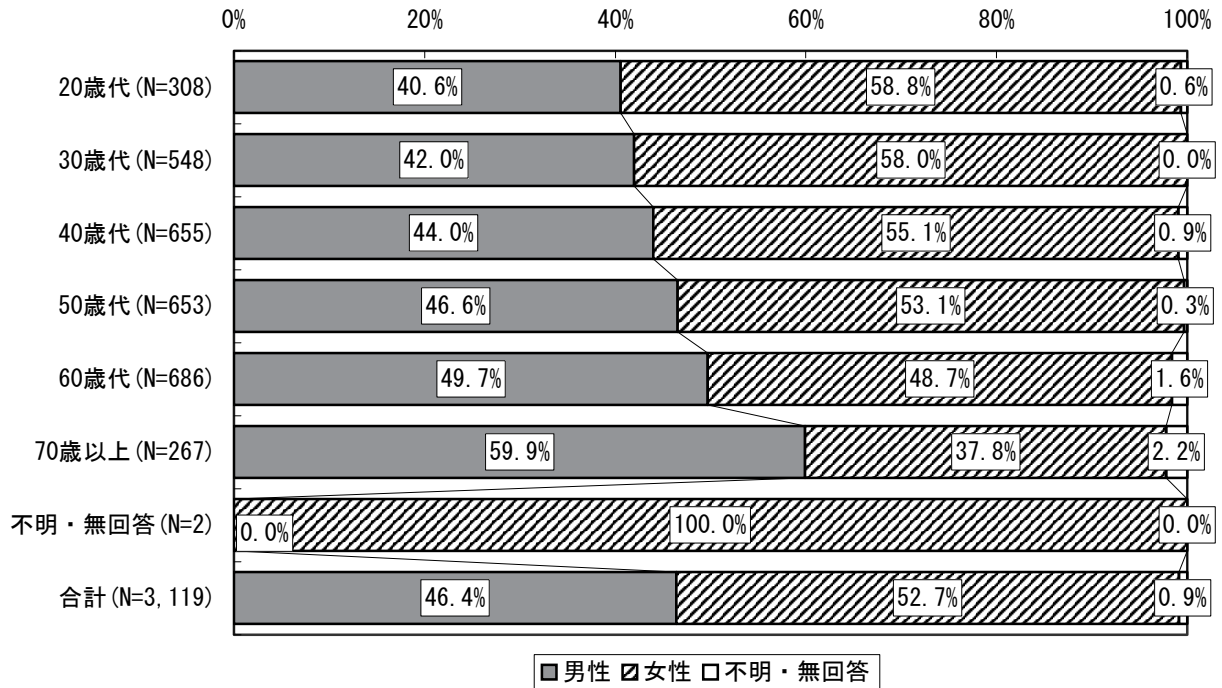
（2）年代別

年代は、「60歳代」が22.0%で最も多く、以下、「40歳代」が21.0%、「50歳代」が20.9%、「30歳代」が17.6%と続いている。



(3) 性・年代別

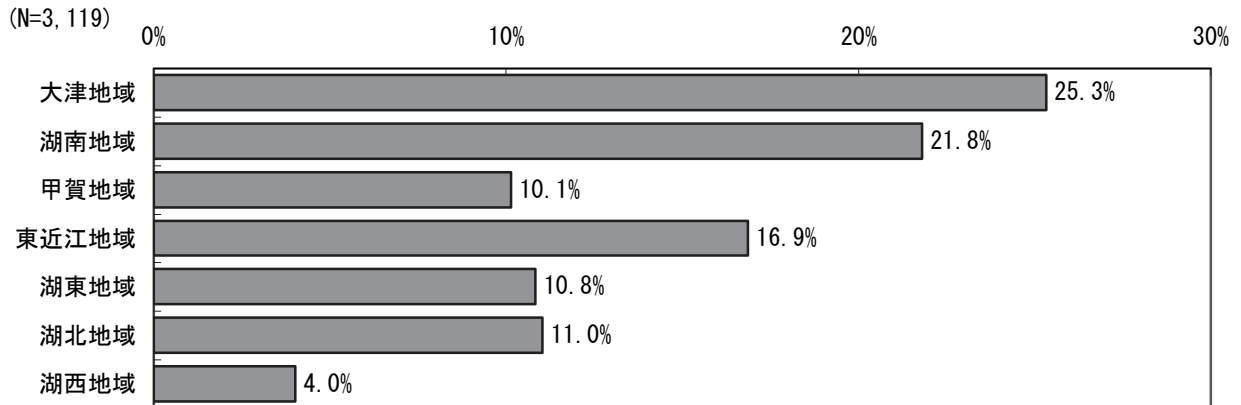
性・年代別の構成をみると、50歳代以下では女性が50%以上を占め、男性の比率を上回っている。60歳代では男女ほぼ同率で、70歳以上では男性が59.9%で女性（37.8%）を上回っている。



	規正標本数 (総数)	男性	女性	不明・ 無回答
20歳代	308	40.6%	58.8%	0.6%
30歳代	548	42.0%	58.0%	0.0%
40歳代	655	44.0%	55.1%	0.9%
50歳代	653	46.6%	53.1%	0.3%
60歳代	686	49.7%	48.7%	1.6%
70歳以上	267	59.9%	37.8%	2.2%
不明・無回答	2	0.0%	100.0%	0.0%
合計	3,119	46.4%	52.7%	0.9%

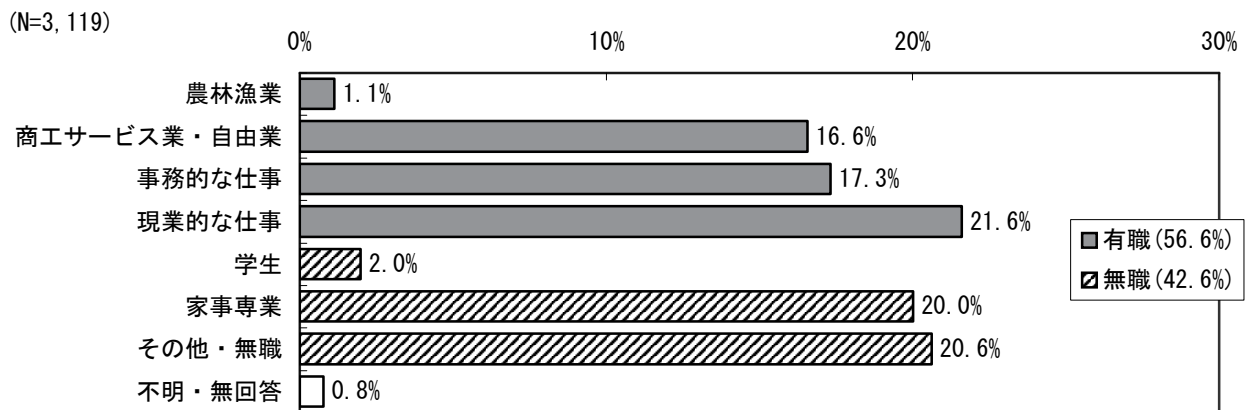
(4) 居住地域別

居住地域は「大津地域」が25.3%と最も多く、以下、「湖南地域」が21.8%、「東近江地域」が16.9%と続いている。



(5) 職業別

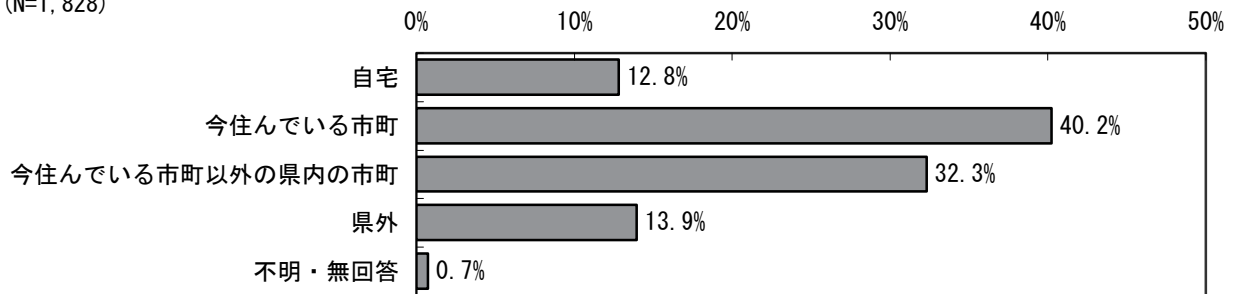
職業は、有職が56.6%となっており、そのうち「現業的な仕事」が21.6%で最も多く、次いで「事務的な仕事」が17.3%となっている。これに対して無職は42.6%となっており、そのうち「その他・無職」が20.6%で最も多く、次いで「家事専業」が20.0%となっている。



(6) 勤務地（通学地）別

「家事専業」・「その他・無職」を除いた現在通勤（通学）している人に対して、勤務地（通学地）をたずねたところ、「今住んでいる市町」が40.2%で最も多く、次いで「今住んでいる市町以外の県内の市町」が32.3%となっている。

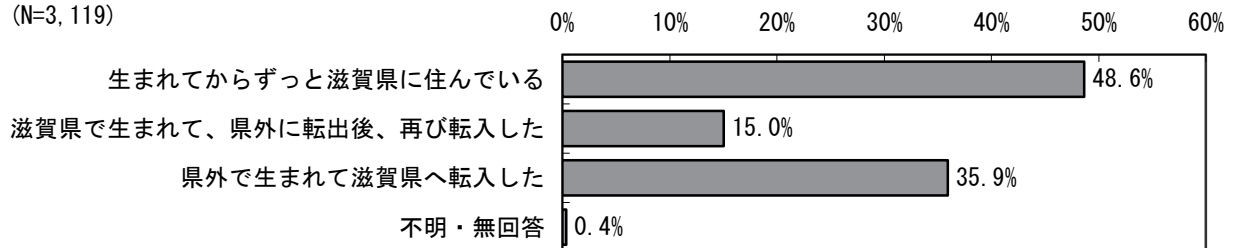
(N=1,828)



(7) 居住歴別

居住歴は、「生まれてからずっと滋賀県に住んでいる」が48.6%で最も多く、次いで「県外で生まれて滋賀県へ転入した」が35.9%となっている。

(N=3,119)



(付問) 転入後の居住年数

「滋賀県で生まれて、県外に転出後、再び転入した」と「県外で生まれて滋賀県へ転入した」人に対して、転入後の居住年数をたずねたところ、「10年以上」が75.7%で最も多くなっている。

(N=1,590)

